

2015年9月政情（内政・外交）

1 内政

（1）地方分権化法案の国会提出

2日、地方分権化法案が国会に提出された。本法案の重要性に鑑み、通常行われる第一読会に先立ち、21日より事前審議が開催された。右審議には本件を担当する地方委員会メンバーのほか、アレマン大統領府大臣、ブランドン・パナマ市長、ゴンサレス行政検察官、並びに各市の市長や地区長が参加し、地方分権化の進め方に関する意見交換を行った。PRD 党関係者からは、小規模の自治体に対する地方財政費を増額するよう要請がなされた。同事前審議は23日に終了し、28日より第一読会での審議が開始した。

（2）マルティネリ前大統領の不正疑惑に関する調査の決定

23日、最高裁判所は、徴税代行業者コブランサ・デル・イスモ社からの収賄並びに株式市場監督庁との間でインサイダー取引を行った疑いで、マルティネリ前大統領に対する調査を行うことを発表した。「マ」前大統領への調査は今回の決定を含めれば計6件となる。

（3）国家支援プログラム（PAN）の改変

26日、アレマン大統領府大臣は当地ラ・プレサ紙のインタビューにおいて、国家支援プログラム（Programa de Ayuda Nacional: PAN）を2016年1月より国家支援事務局（Secretaria de Apoyo Nacional）という機関に改変する旨を発表した。「ア」大統領府大臣は、同事務局は地域支援のためのプロジェクトや真に急を要する事態のみに利用される機能を有し、各事業においては、マルティネリ政権下とは異なり、然るべく入札をおこなった上での事業展開を義務化すると述べた。また、同事務局の予算については、2014年度のPANの予算が1,140万ドルであったところ、2,000万ドルを超えない範囲で拡大される予定である旨明かした。

2 外交

（1）ナバロ・ドミニカ共和国外務大臣のパナマ訪問

1日、サイン・マロ副大統領兼外務大臣は、当地を訪問したナバロ・ドミニカ共和国外務大臣との間で、治安及び出入国情報交換メカニズムの確立にかかる合意の署名を行った。同メカニズムは治安情報の交換を行うとともに、両国民の出入国情報を交換することで、国内、地域及び国家間における犯罪の防止を図ることを目的としている。

（2）パナマ・キューバ首脳会談

10日、キューバを訪問したバレーラ大統領はカストロ同国国家評議会議長と会談し、キューバ人に対する査証制限の緩和、両国間における通商・観光関係の強化等のテーマにつき協議を行った。

（3）鄭韓国議会議長のパナマ訪問

14日、デ・レオン議会議長は、当国を訪問した鄭義和・韓国議会議長との間で会談を

行い、両国議会間交流にかかる合意への署名を行った。同合意は、両国議会による活動及び政治・経済・社会・文化といった様々な分野での情報交換の促進を目指すもの。

(4) バレーラ大統領及びサイン・マロ副大統領兼外務大臣の米国訪問

本訪問における「バ」大統領及び「サ」外務大臣の主要な活動は以下のとおり。

- ア 23日、「バ」大統領は第8回世界家族会議にゲストスピーカーとして参加。
- イ 25日、「バ」大統領及び「サ」外務大臣は持続可能な開発のためのポスト2015アジェンダを採択する国連サミットに参加。
- ウ 26～29日、「バ」大統領はアブドゥラー・ヨルダン国王、ルッテ蘭首相、エマン・アルバ首相、ホワイトマン・キュラソー首相、エルシーシ・エジプト大統領、マドゥーロ・ベネズエラ大統領との間でそれぞれ会談を行った。
- エ 27日、バレーラ大統領はSICA 特別会合に参加。
- オ 27日、バレーラ大統領及びサイン・マロ副大統領兼外務大臣はジェンダー平等と女性のエンパワーメントに関するグローバル・リーダーズ会合に参加。
- カ 28日、「バ」大統領は米国企業に対するパナマの投資の魅力を紹介する講演を行った。
- キ 28日、「サ」外務大臣はスワイア英国外務大臣と会談した。
- ク 29日、「バ」大統領は世界ユダヤ人会議関係者との間で会合を行った。
- ケ 29日、「バ」大統領はイスラム国及び暴力的過激主義対策に関する首脳級会合に参加した。
- コ 30日、「バ」大統領は第70回国連総会にて一般討論演説を行った。